

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公表番号】特表2008-517101(P2008-517101A)

【公表日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2007-536973(P2007-536973)

【国際特許分類】

C 08 F 2/00 (2006.01)

C 08 F 236/20 (2006.01)

C 08 F 220/56 (2006.01)

B 01 D 21/01 (2006.01)

【F I】

C 08 F 2/00 A

C 08 F 236/20

C 08 F 220/56

B 01 D 21/01 1 0 7 A

B 01 D 21/01 1 1 1

B 01 D 21/01 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月10日(2008.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

約1から約99モルパーセントのカチオン電荷を有する変性ジアリル-N、N-二置換ハロゲン化アンモニウムポリマー(modified diallyl-N,N-disubstituted ammonium halide polymer)の調製方法であって、

(a) 1以上のジアリル-N、N-二置換ハロゲン化アンモニウムモノマー類と、約15から約95パーセントのアクリルアミドモノマー総量とを含む水溶液を調製すること；

(b) モノマー類の重合を開始すること；

(c) 少なくとも約5パーセントのジアリル-N、N-二置換ハロゲン化アンモニウムモノマー変換および少なくとも約20パーセントのアクリルアミドモノマー変換まで、重合を進行させること；および

(d) 残りのアクリルアミドモノマーを添加し、所望の終点(endpoint)まで重合を行なわせ、前記重合はモノマーベースで約0.1から約150,000ppmの1以上の連鎖移動剤(chain transfer agent)および、任意で、モノマーベースで約1から約30,000ppmの1以上の架橋剤の存在下で行なわれること、を含む方法。

【請求項2】

前記変性ジアリル-N、N-二置換ハロゲン化アンモニウムポリマーが、約30から約70モルパーセントのジアリルジメチル塩化アンモニウムモノマー、および、約30から約70モルパーセントのアクリルアミドモノマーできており、約7ミリ当量/gポリマー未満の電荷密度、および、約10dL/g未満のRSVを有することを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

請求項 1 に記載の方法によって調製された、効果的な量の変性ジアリル - N、N - 二置換ハロゲン化アンモニウムポリマーと；効果的な量の 1 以上の、高分子量で、水溶性のカチオン、アニオン、非イオン、双性イオン (zwitterionic)、または両性イオン (amphoteric) ポリマー 凝集剤類 (flocculants) とを完成紙料に添加することを含む、製紙完成紙料 (papermaking furnish) における保持 (retention) および排水 (drainage) を増加させる方法。